様式１０　令和６年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	33_岡山県

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	目標の年度の数値	実績の年度の数値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）		目標等の公表先
33207井原市	②学校と地域の課題	05 その他	本市が令和元年度から取り組む「ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業」に掲げる「井原“志”民力≒非認知能力」をもった人財の育成を積極的に推進する	子どもたちが、ふるさと井原の魅力拡大や課題解決に参画する学習活動や地域活動を積極的に導入しており、事業開始当初から小学生（4～6年生）を対象に実施している井原“志”民力実態調査の結果からは、身に付けたい3つの力（いばら愛・やりぬく力・まきこむ力）や幸福度、地域への想いが高まる傾向が見られている	自分とふるさと井原を愛（Ｉ）し、よりよい未来のために実行（Do）する 自分と井原への確かな『IDentity』（＝井原“志”民力）に集約・整理する「身に付けたい3つの力（いばら愛・やりぬく力・まきこむ力）」のうち、本事業をとおして、いばら愛（郷土愛と当事者性）の醸成にさらに努めて行く	「ふるさと井原」への愛情を持ち、自分自身が井原市民の一員であるということを自覚できている小学生の割合を増やす	いばら愛① 住んでいる地域にいる大人から子どもまでいろんな年代の人たちと交流することができる いばら愛② 住んでいる地域のいろんな（知らない）知識や情報を自分から収集して、より多くのことを知ることができる いばら愛③ 住んでいる地域で開かれる行事やボランティア活動に、積極的に参加することができる	① 3.86 ② 3.76 ③ 3.79 （5段階評価）	ポイント	①～③ 4.00	① 3.57 ② 3.43 ③ 3.44 （5段階評価）	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる	●ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業 ・子どもたちが、ふるさと井原の魅力拡大や課題解決に参画する学習活動や地域活動を積極的に導入しており、事業開始当初から小学生（4～6年生）を対象に実施している井原“志”民力実態調査の結果からは、身に付けたい3つの力（いばら愛・やりぬく力・まきこむ力）や幸福度、地域への想いが高まる傾向が見られていたが、本年度調査では前年度実績値を0.3ポイント程度下回る結果となった。 ●井原市放課後子ども教室推進事業 ・本市が取り組むふるさと井原の未来を創るひとづくり事業のうち、当該事業についておかやま子ども応援事業補助金を活用している。 ・指標としている「いばら愛の醸成」については、小学生（4～6年生）を対象に実施している実態調査結果では、全項目で前年度実績値（現状値）を0.3ポイント程度下回っている。 ・各教室（8教室）の運営担当者に行った同様の調査では、児童の結果を0.2～0.7ポイント上回っており、運営側の意識は高まる傾向にある。 （指標の達成度）　※5段階評価による平均値 ①3.75（前年4.22）　②4.13（前年3.89）　③3.88（前年3.44） （課題）　・参加児童の減少、固定化及び一部行事のマンネリ化 ・サポーターの後継者不足及び次期リーダーへのバトンタッチ ・様々な世代との交流 ・熱中症や、コロナ・インフル流行期の事業実施判断 （改善策）・放課後児童クラブ、PTA、地域への声掛けや広報の工夫 ・親子参加事業の検討や地域の方への参加募集 ・活動内容のスリム化、他団体との連携・協働による事業の統合 ・熱中症、コロナ・インフル流行期の実施判断を小学校の基準とした （成果）・多くの児童が地域の方々と交流し、様々な体験をすることができた ・事業を継続実施することの価値を地域に理解してもらえるようになった ・外遊びの好きな子が増え、友達と一緒に工夫して遊んでいる ・児童が地域を知り、身近に感じたり、役立ちたいとの意識を感じる ・地域住民の協力・協働関係が良くなった ※今回、児童と運営側の認識に少し違いが感じられた。ひとづくり事業での評価・分析も含め、結果を運営担当者と共有し、対策等を協議していきたい。 ※そのためにも、各教室運営担当者との情報交換会を開催するなど、連携を密にして、子どもたちの安全安心な居場所づくりをより多くの地域住民の参画を得て進められるよう事業の趣旨の周知に努めるとともに、事業のブラッシュアップにつなげるなど、目標の達成はもとより、子どもたちや関わっていただける地域住民の満足度アップを図って行きたい。	